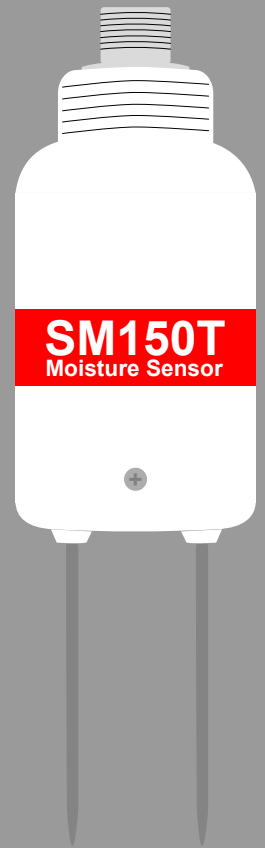
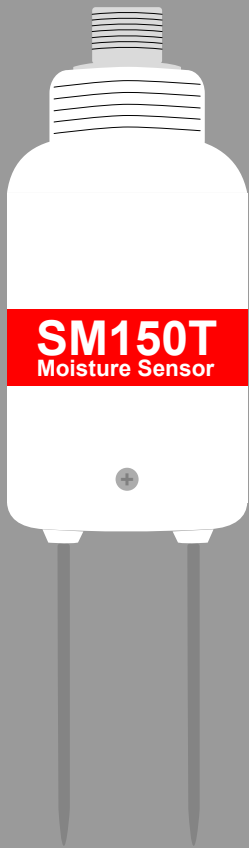
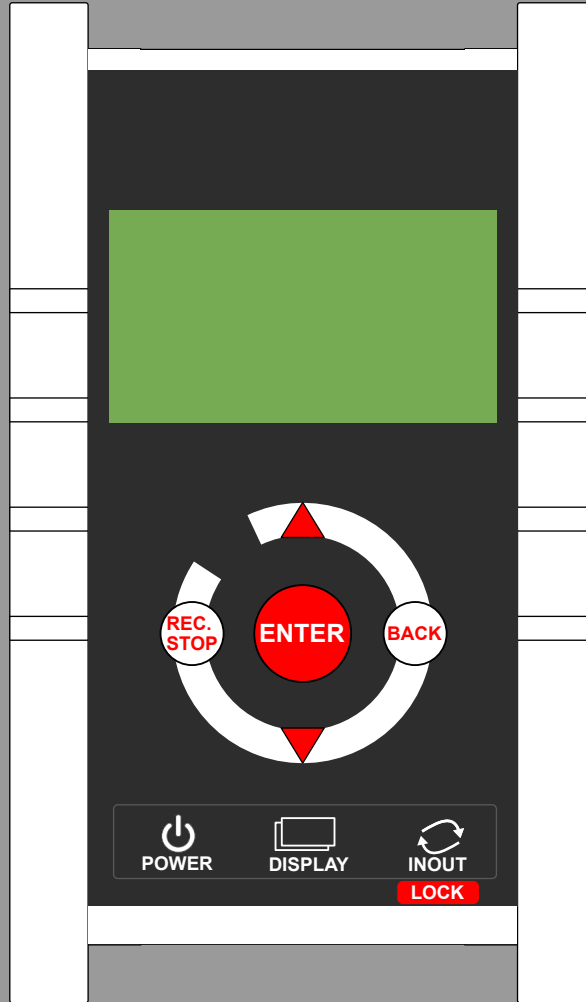
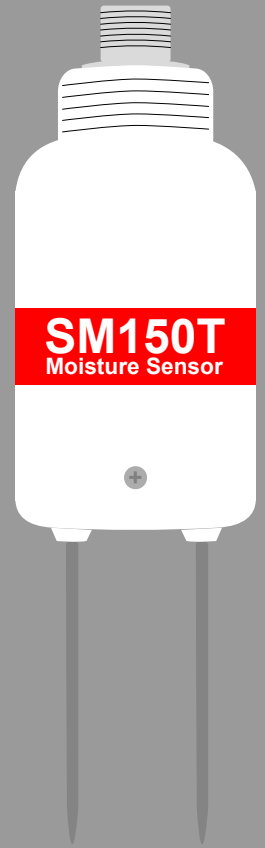
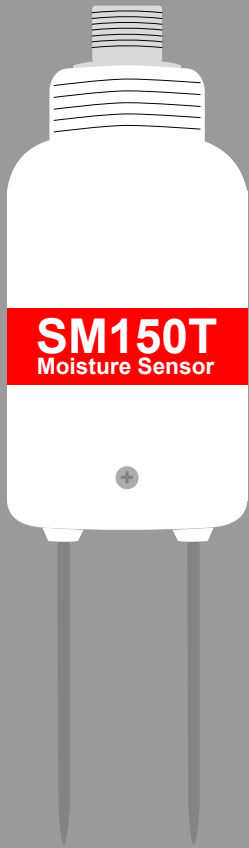


Quick Manual for SM150T + MCR4V



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

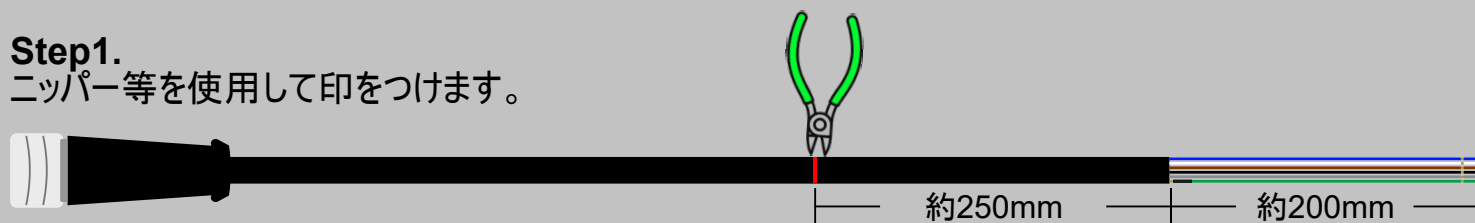
TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844

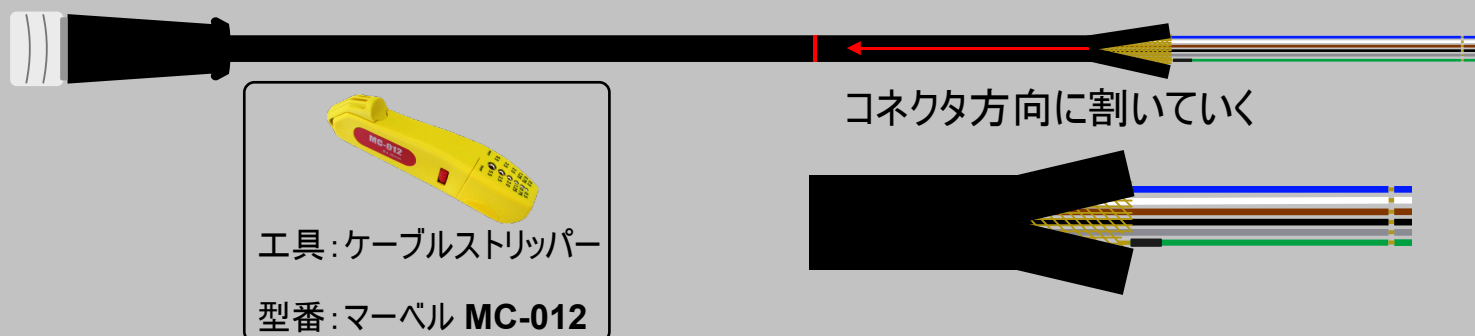
SM150T Cable(SMSC/LM-05) : 弊社の防水ケースを使用する場合

SMSC/LM-05は、約200mmのバラ線が既に出ていますが、バラ線の全長を約450mm程にする必要がありますので、約250mm程ケーブルを割く必要があります。

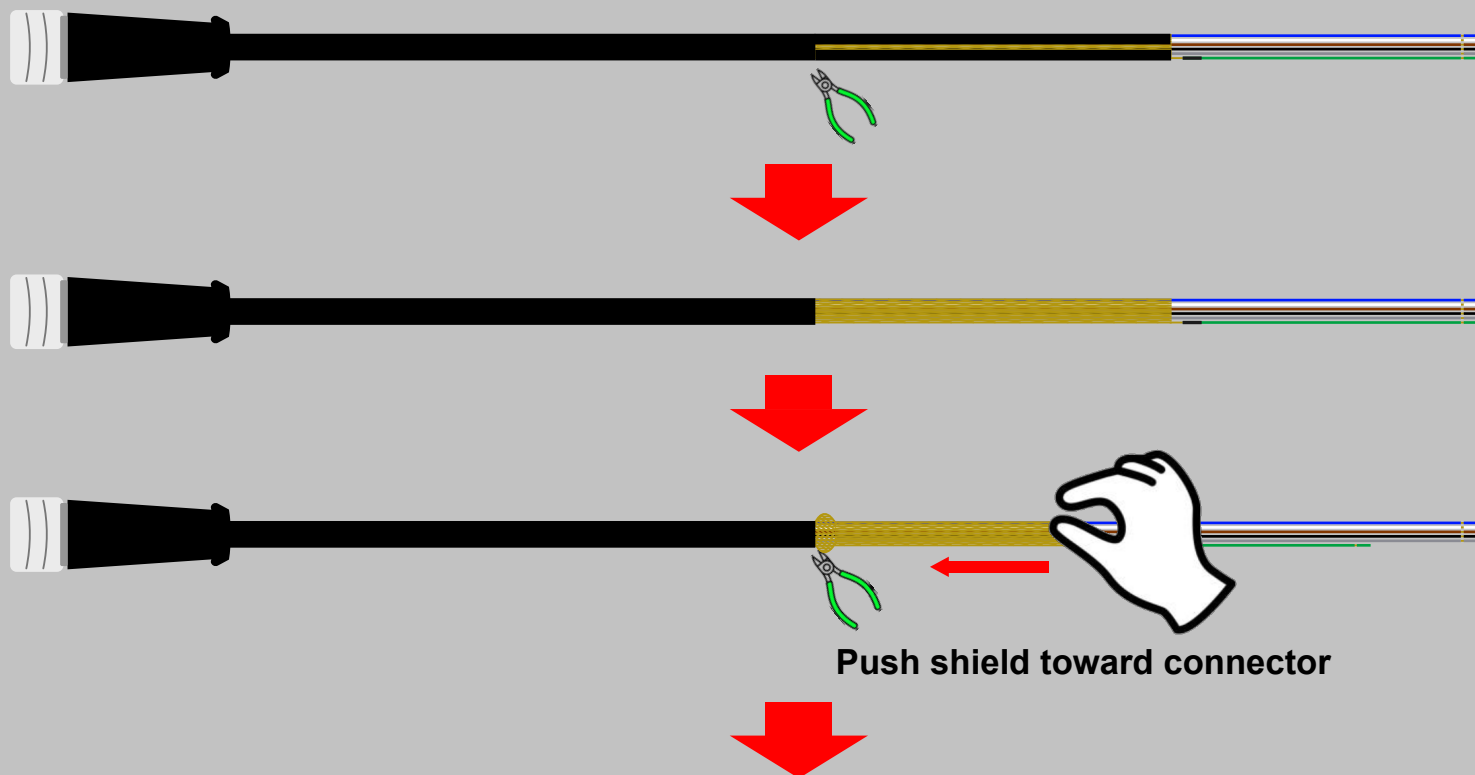
Step1.
ニッパー等を使用して印をつけます。



Step2.
目標長さのところまで、ケーブルストリッパーを使ってケーブルを割きます。(ケーブルストリッパーの刃が長すぎると、中のバラ線まで切ってしまうので注意して下さい。)



Step3.
ケーブルのシースを目標の長さまで割いたら、中のバラ線をきらないように気をつけながらニッパー等でシースを切り取ります。シースを切り取るとシールドがかぶさった状態になりますので、次にシールドを切り取ります。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

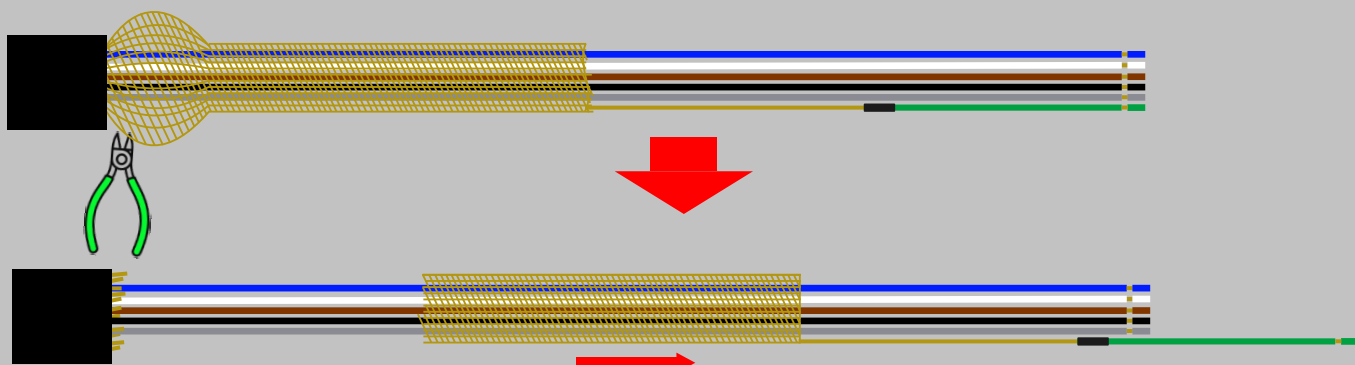
福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

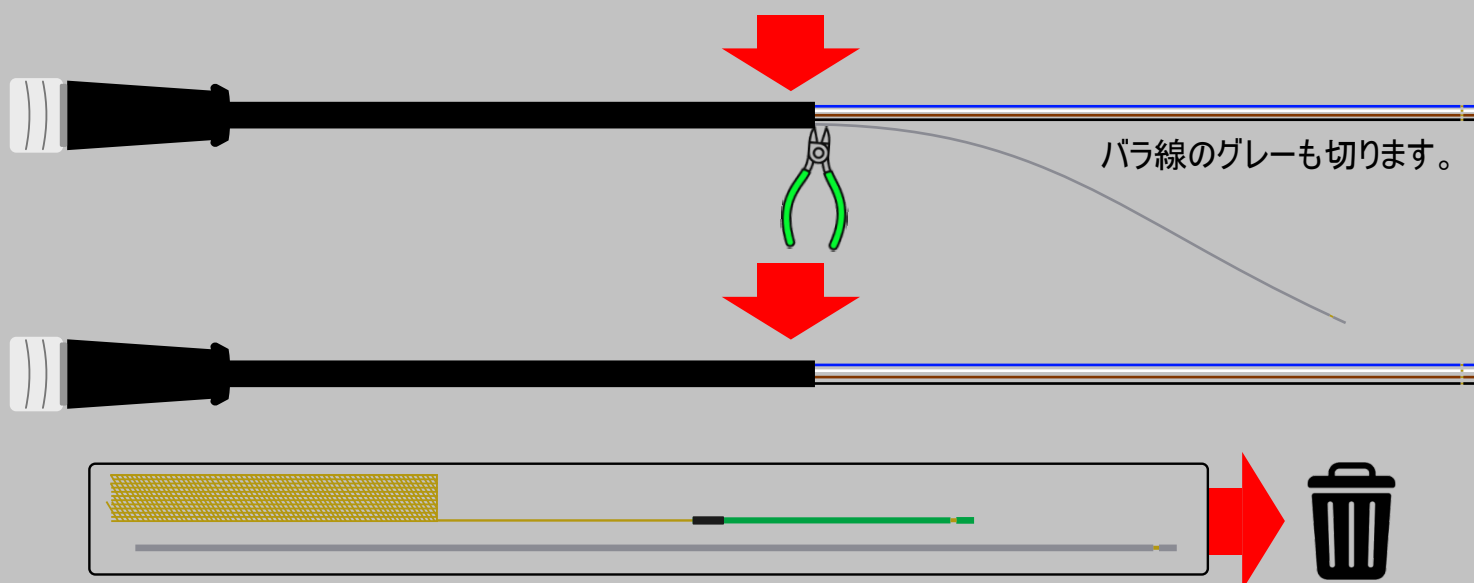
FAX:092-985-7844

SM150T Cable(SMSC/LM-05) : 弊社の防水ケースを使用する場合

Step3.

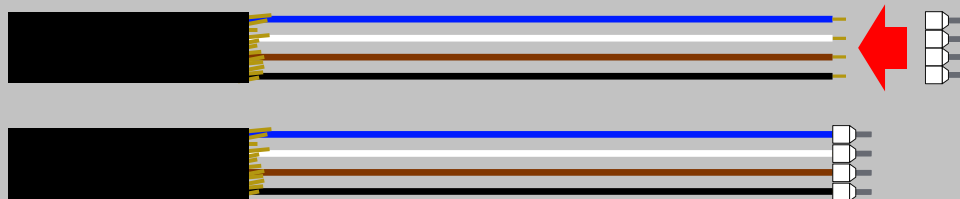


切ったシールドシールドを抜くと緑色バラ線も一緒に抜けます。
(MCR4Vと接続する場合には必要ないので問題ございません。)



バラ線のグレーも切ります。

次に棒端子を取り付けます。棒端子を付ける理由は銅線の腐食を防ぐとともに銅線が切れて基盤への落下を防げます。銅線が切れて基盤に落ち腐食すると基盤の故障に繋がることがありますので棒端子の取り付けは重要です。棒端子を全て取り付けて完成です。



棒端子型番: NF 0.5-8-WHI



工具: CRIMPFOX CENTRUS 10S



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

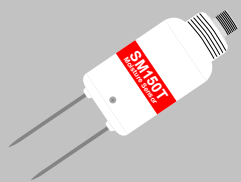
福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

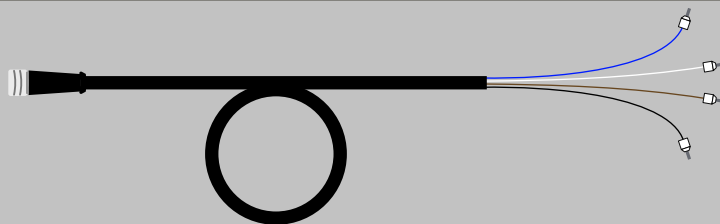
FAX:092-985-7844

SM150T + MCR4V

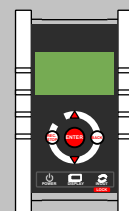
Preparation



SM150T



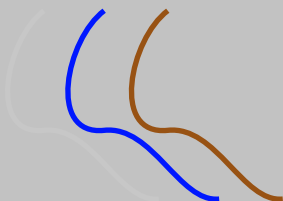
SMSC/LM-05
(バラ線カスタマイズ仕様P.2,3をご覧ください)



MCR4V data logger
(データロガー)



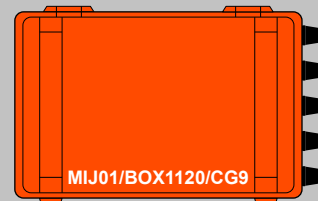
PR-01 2.5V仕様
(プレヒート基盤)



Wires
(ワイヤー)



Terminal block
(ネジ端子台)



Water proof case
(防水ケース)

Connecting 10HS to MCR4V

1. PR-01 (プレヒート基盤) を MCR4V と接続します。



a. 長さ約250mmのワイヤーを準備します。



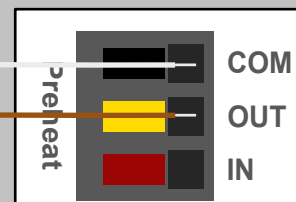
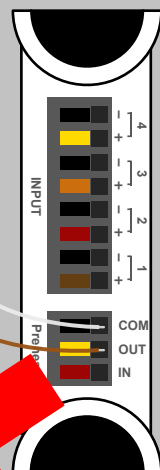
b. MCR4Vに繋げる方のシースを10mm程剥がしてハンダコーティングします。(はんだ槽があると便利です。) この時AWG28~22(外径0.32mm~0.62mm)の太さになるように調整する必要があります。



c. 棒端子を付けます。



PR-01 PRH → MCR4V Preheat OUT
PR-01 GND → MCR4V Preheat COM



棒端子型番: NF 0.5-8-WHI

工具: CRIMPFOX CENTRUS 10S

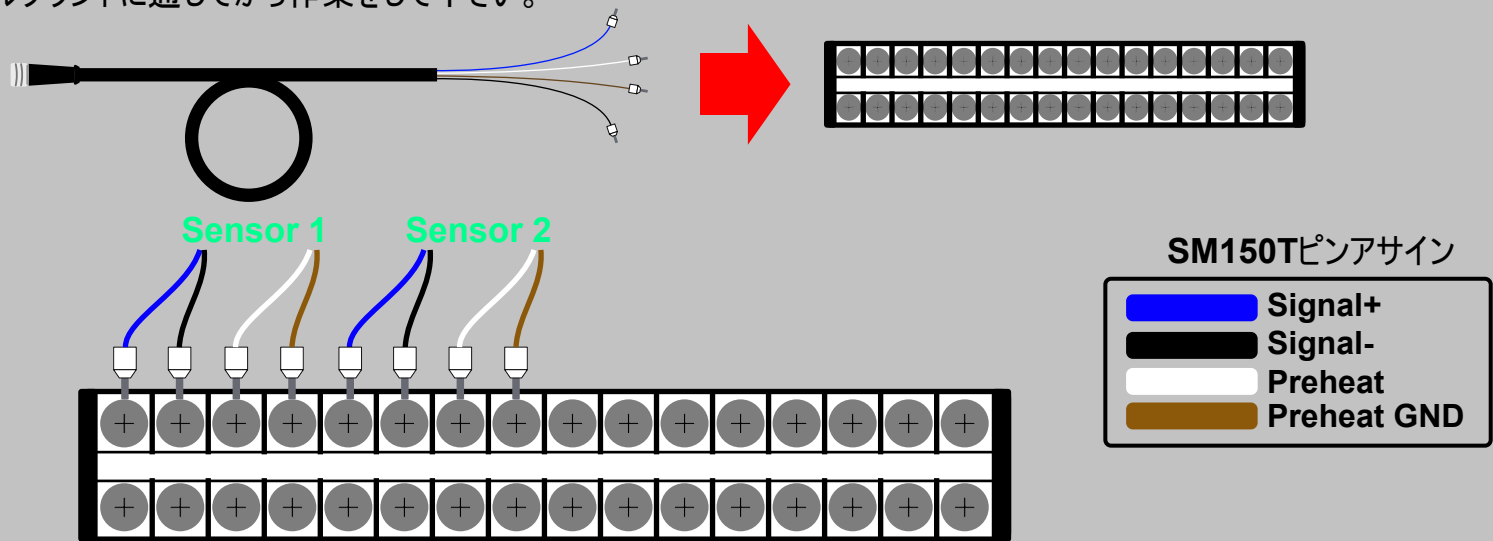
Environmental Measurement Japan



日本環境計測株式会社
〒811-0215
福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号
TEL:092-608-6412
FAX:092-985-7844

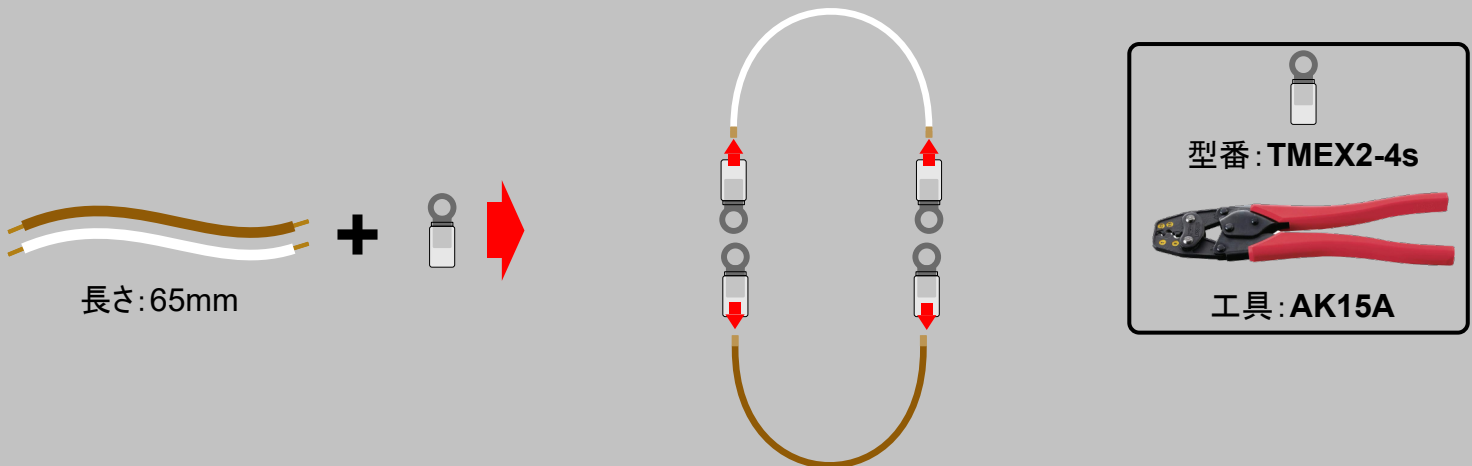
Connecting SM150T to MCR4V

2. SMSC/LM-05 (ケーブル) をネジ端子台に接続します。本マニュアルでは2本接続した場合での説明になります (最大4本接続可能)。防水ケースを使用する場合は、ネジ端子台に接続する前にセンサーケーブルを防水ケースのケーブルグラントに通してから作業をして下さい。

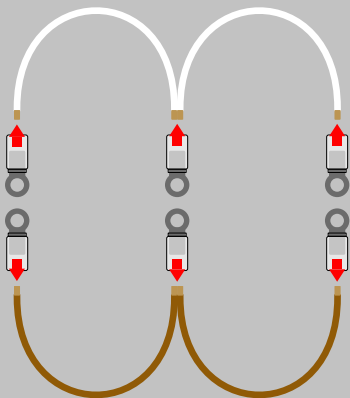


3. 丸端子を使って渡しを作ります。

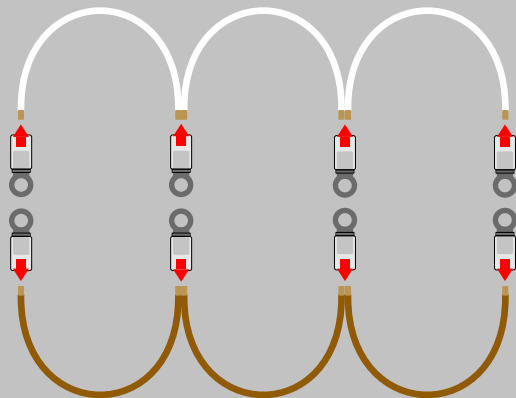
センサー2本接続する場合



センサー3本接続する場合



センサー4本接続する場合



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

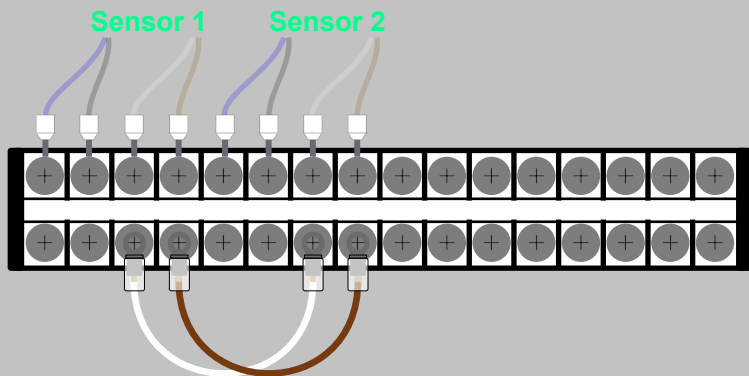
福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

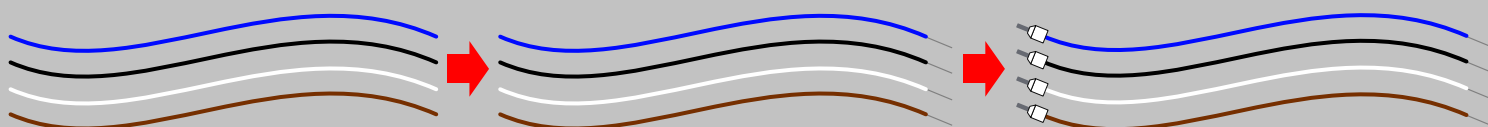
FAX:092-985-7844

Connecting SM150T to MCR4V

4. ネジ端子台に渡しを取り付けていきます。



5. センサーのSig+、Sig-、PRH、GNDをMCR4Vに接続するためのワイヤーを作成します。

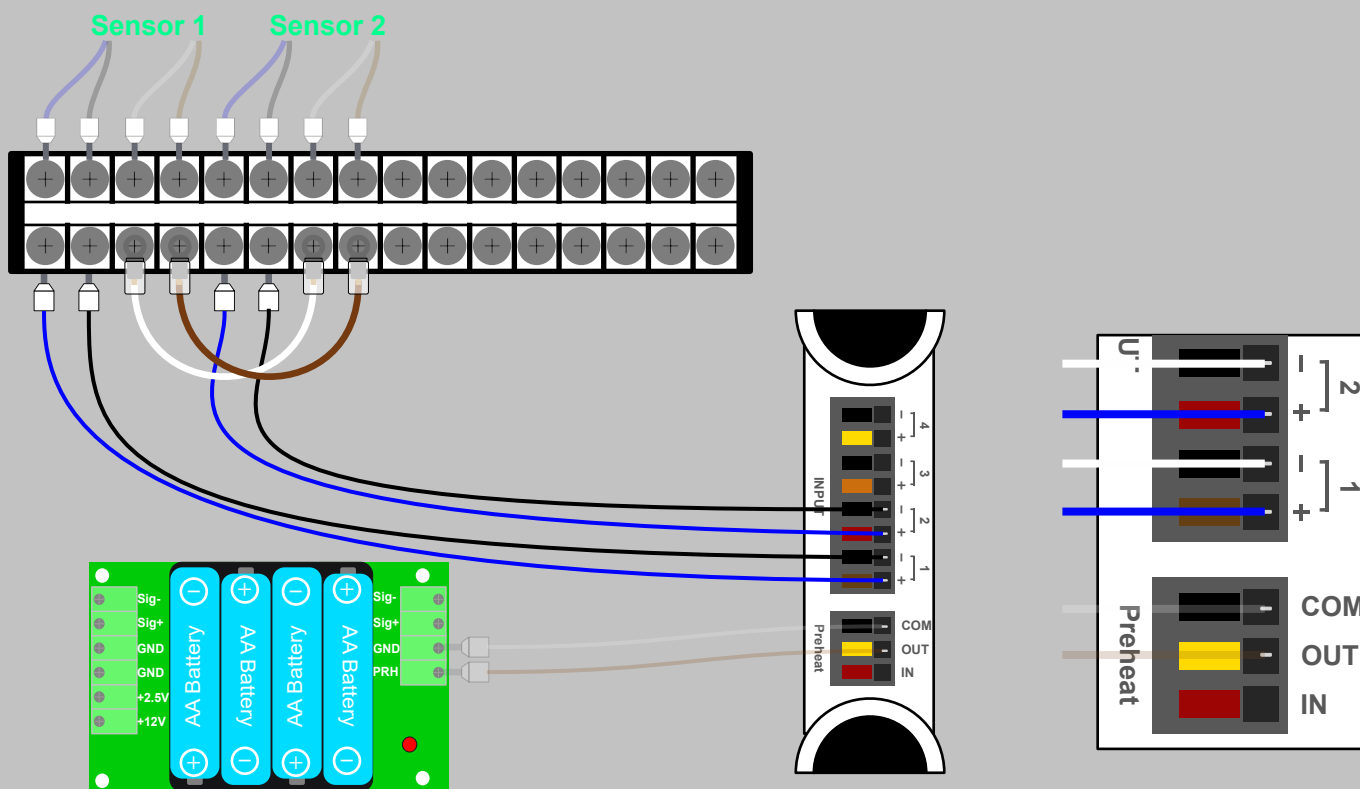


a. 任意の長さのワイヤーを準備します。

b. MCR4Vに繋げる方のシースを10mm程剥がしてハンダコーティングします。(はんだ槽があると便利です。)この時AWG28~22(外径0.32mm~0.62mm)の太さになるように調整する必要があります。

c. 棒端子を付けます。

6. センサーSigとGNDをMCR4Vに接続します。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

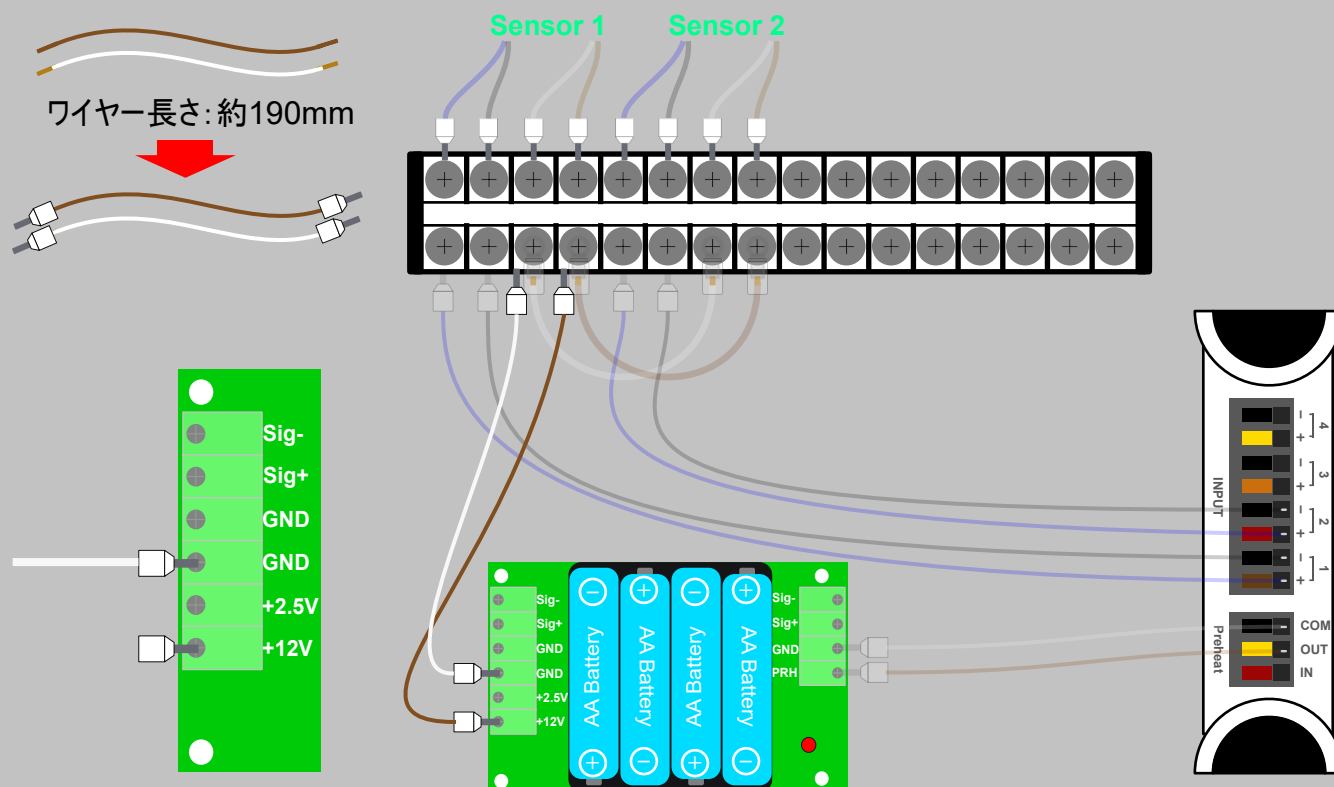
福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844

Connecting SM150T to MCR4V

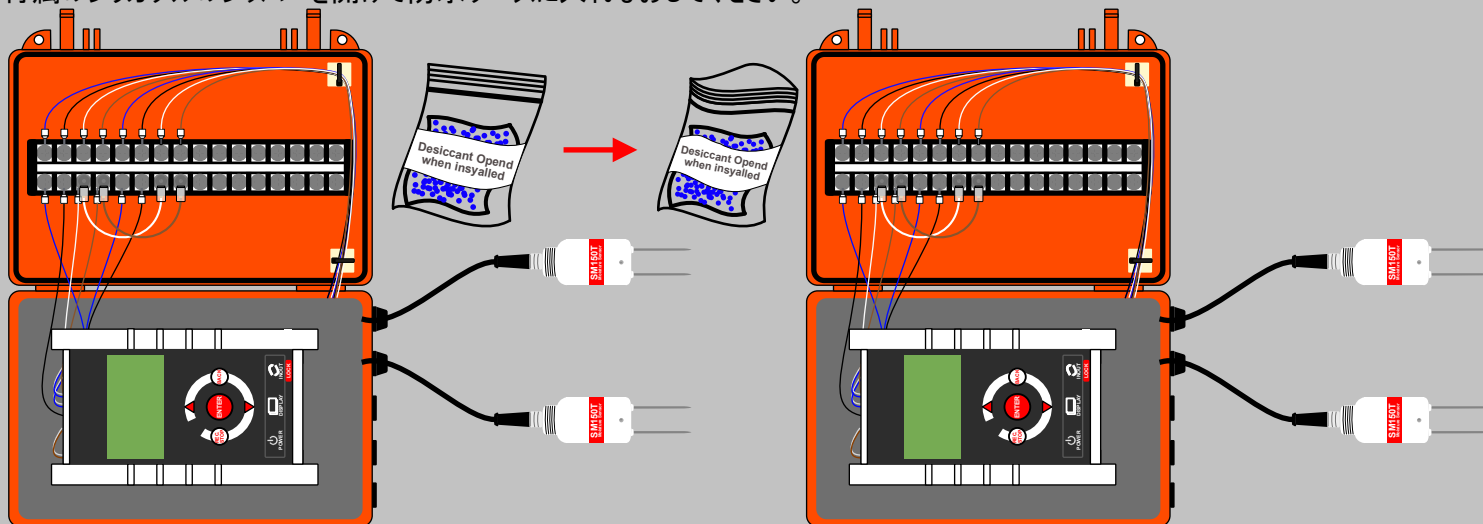
7. PR-01と端子台を繋げるためにワイヤーを作成します。



8. 全ての配線が終わったら、防水ケース内でワイヤー等をまとめて完了です。

現場で使用す際、以下のことにご注意ください。

・付属のシリカゲルのジッパーを開けて防水ケースに入れなおしてください。



・防水ケースにケーブル等が蓋に挟まらないように、しっかり締めるようにしてください。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

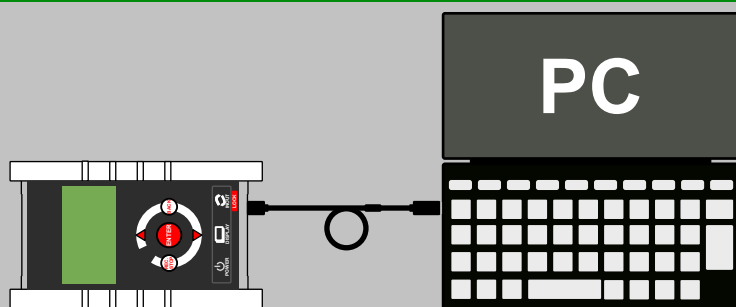
〒811-0215

福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844

MCR4V setting



付属のソフトをPCにインストールして、MCR4VとPCを付属のケーブルで接続します。インストール方法は付属のMCR4V説明書をご覧ください。本マニュアルは、SM150Tを接続する際の設定内容を簡易的に説明しております。ロガー本体の詳しい説明は、付属マニュアルをご覧ください。

記録開始設定

記録開始方法	<input checked="" type="radio"/> 即時 <input type="radio"/> 予約
記録モード	<input type="radio"/> エンドレス <input checked="" type="radio"/> ワンタイム
記録間隔	10 min.
記録開始時刻	2022年11月29日 10:20:00
現在時刻	2022年11月29日 10:15:59
記録可能時間	およそ 1365日
プレヒート	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF プレヒート時間 1 sec.

記録開始方法: 即時

記録モード: ワンタイム

記録間隔: 10分(任意で変更)

この設定は任意で変更可能ですが、プレヒート時間は1secで十分です

プレヒート: ON

プレヒート時間: 1 sec

詳細設定

<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF	詳細設定: ON	
50~60Hz フィルタ	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF	
記録チャンネル	チャンネル名	電圧レンジ
<input checked="" type="checkbox"/> 1	Channel1	± 1.5 V
<input checked="" type="checkbox"/> 2	Channel2	± 1.5 V
<input type="checkbox"/> 3	Channel3	±300mV
<input type="checkbox"/> 4	Channel4	±300mV

フィルタ: ON(分解能が上がるので必ずON)

記録チャンネル数: センサーの本数分チェック
電圧レンジ: ±1.5Vに設定

設定値送信

上記設定が完了したら設定値を送信を必ずクリックしてロガーに設定を保存します。

スケール変換/単位設定

デフォルトのままでも問題ありません。

時刻設定

時刻設定も忘れずに設定して下さい。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

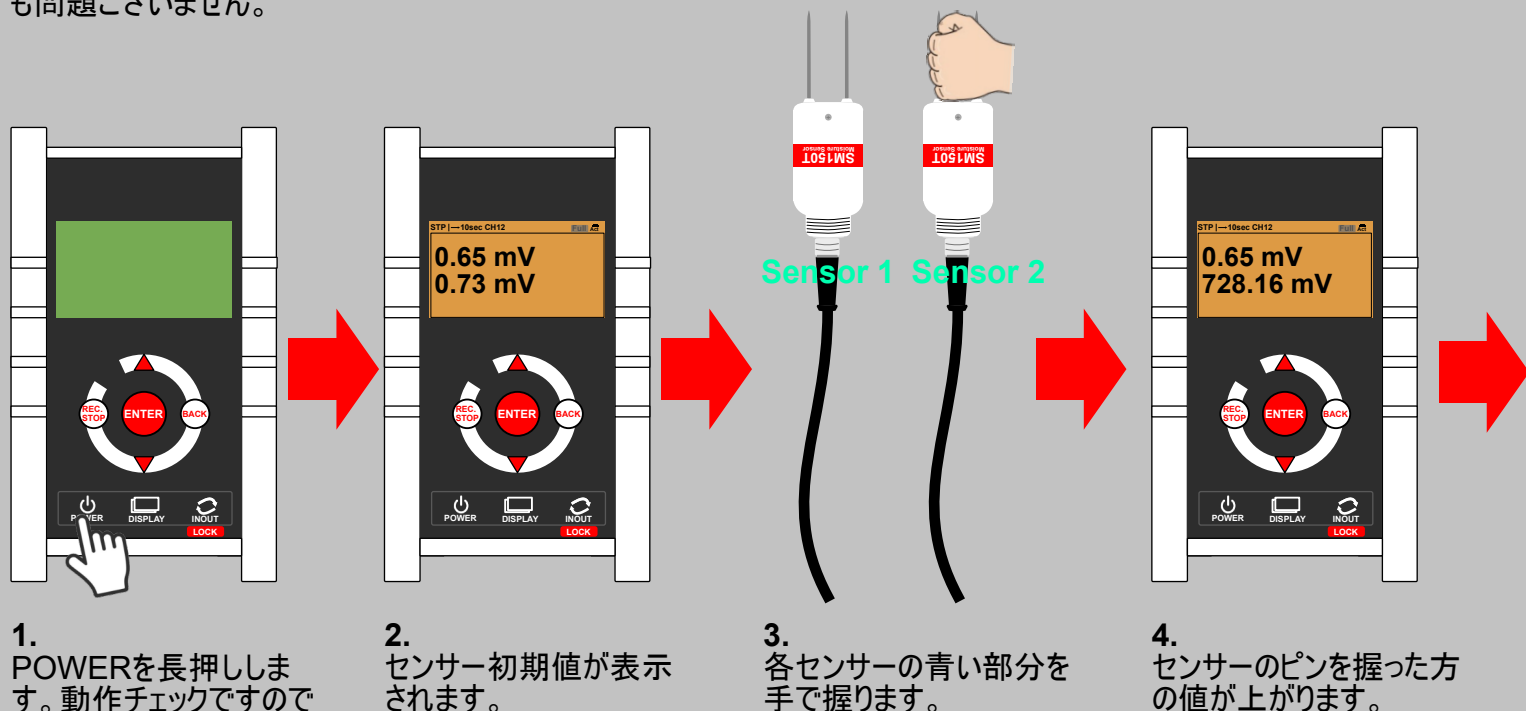
福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844

Operation Check

計測本番前にセンサーの動作チェックすることはとても重要です。2本のセンサーを接続したと仮定して説明していきます。配線、ロガー設定を全て完了したことを前提に説明していきます。初期値はセンサーで異なりますので、多少値が違っていても問題ございません。

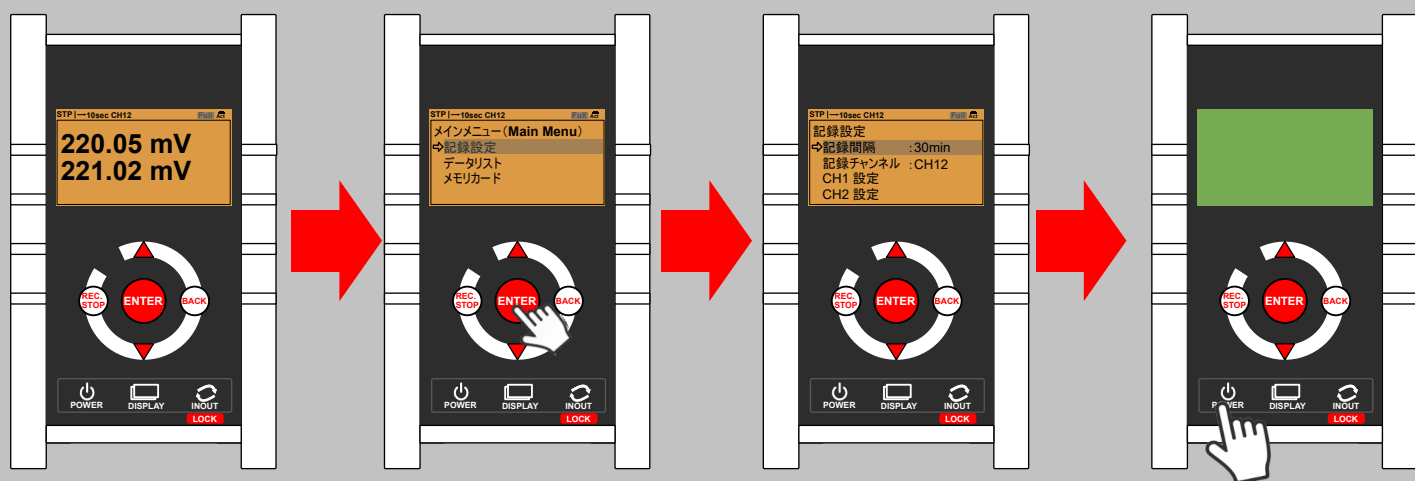


1. POWERを長押しします。動作チェックですので計測間隔を10secに設定して行います。

2. センサー初期値が表示されます。

3. 各センサーの青い部分を手で握ります。

4. センサーのピンを握った方の値が上がります。



5. センサーの青い部分から手を離します。各センサーの値が初期値に戻っているか確認します。問題がなければ次に進みます。

6. 動作チェックのために計測間隔を10secに設定していたので、本体の記録設定、またはPCに接続して計測間隔を任意で変更することを忘れずにお願いします。

7. 任意で記録間隔を設定し直して計測を開始して下さい。

8. 動作確認が完了したらPOWERを長押しして電源をOFFにします。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

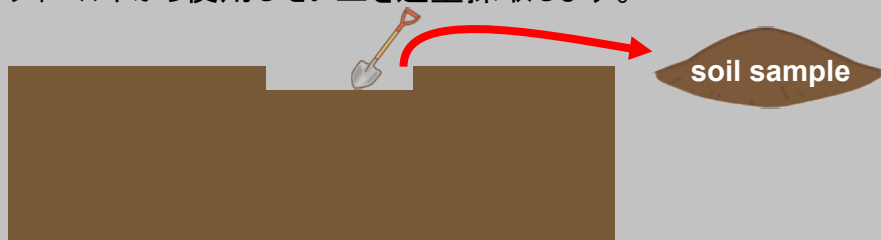
FAX:092-985-7844

Sensor Calibration

土壤水分センサーを使って正確なVWCを求めたい場合は埋設する前に以下の校正を実施してください。
SM150Tはメーカーにて校正済みのセンサーの為、10個SM150Tを持っていても1個のみ校正を実施するだけで構いません。

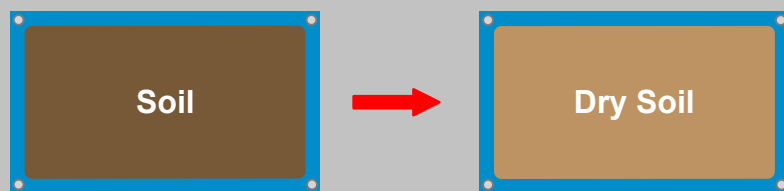
Step 1.

フィールドから使用したい土を適量採取します。



Step 2.

採取した土をブルーシート等の上に薄く敷いて、完全に乾燥させます。敷いた土から石などの土ではないものを取り除いておいてください。土の種類によって異なりますが、完全に乾くまで数日かかる場合もあります。



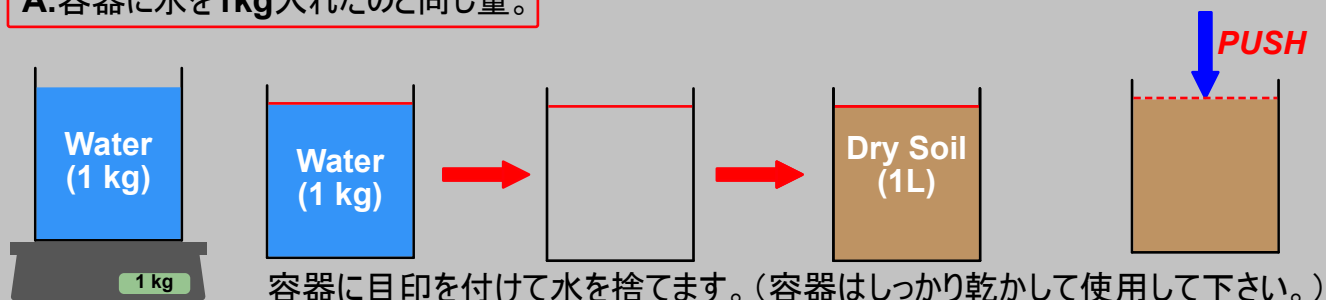
Step 3.

完全に乾いた1L分の土を押し固めながら**金属以外**のガラスやプラスチックの容器に入れます。

Q.土1Lって？

A.容器に水を1kg入れたのと同じ量。

*土を容器に入れるときは必ず押し固めながら入れます。

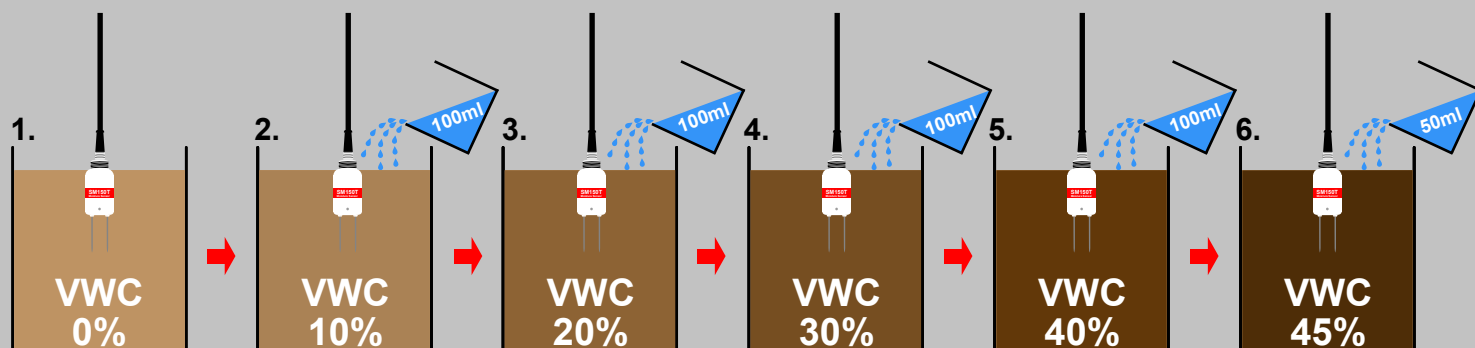


容器に目印を付けて水を捨てます。(容器はしっかり乾かして使用して下さい。)

Step 4.

VWC 0%、10%、20%、30%、40%、45%の順に計測していきます。

土と水をよく混ぜてからセンサーを差し込みます。VWC0%から順にセンサーの出力をメモして下さい。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

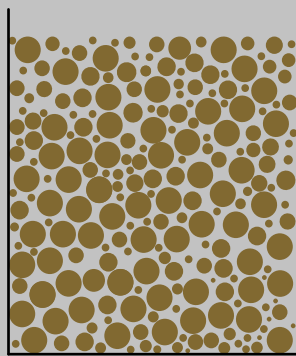
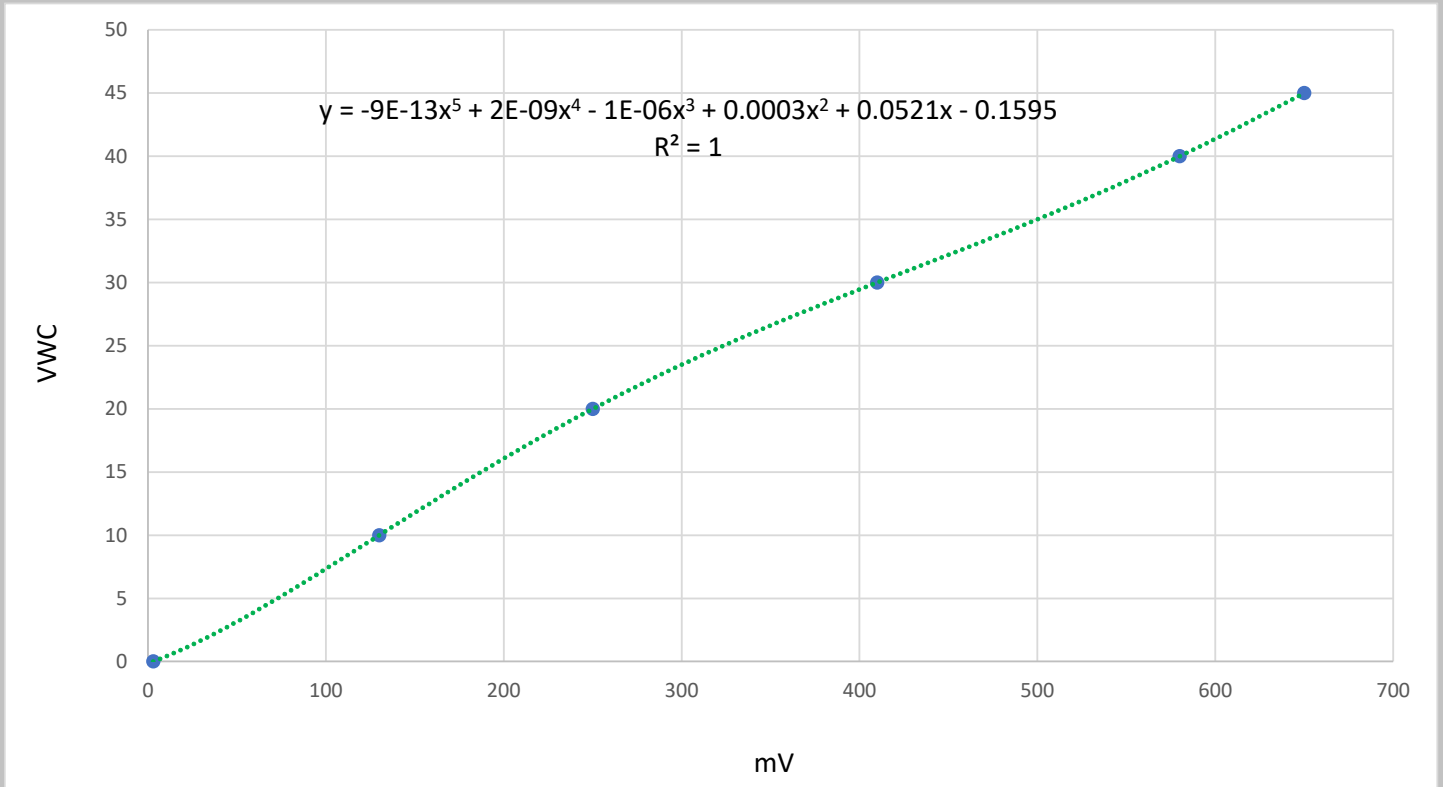
TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844

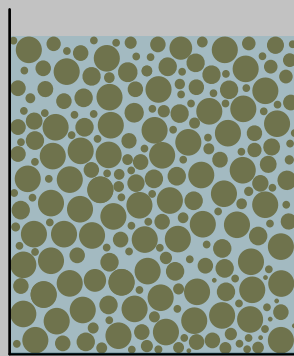
Sensor Calibration

Step 5.

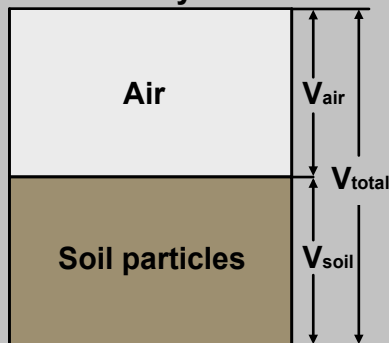
ここまでの作業で1.~6.の値を縦軸にVWC、横軸に電圧としたグラフを作成します。そのグラフで5次の回帰曲線を作成します。エクセルで作成した時のイメージは下のようなグラフになると思います。



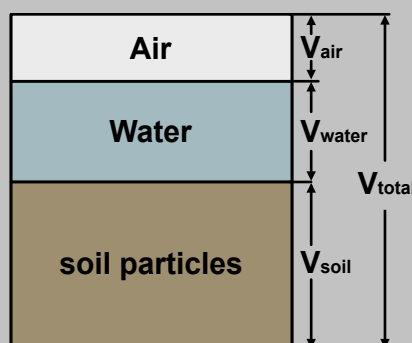
Dry soil



Wet soil



$$V_{total} = V_{air} + V_{soil}$$



$$V_{total} = V_{air} + V_{water} + V_{soil}$$

V_{wvc} (体積含水率): 土全体の体積に対する水の体積

$$\theta = \frac{V_{water}}{V_{total}} \times 100\%$$



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

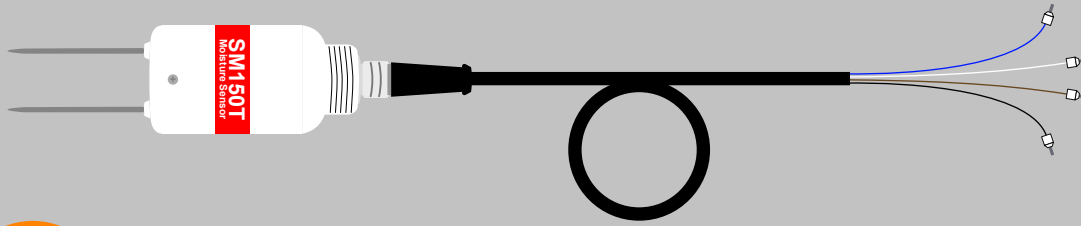
福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844

Sensor Calibration

SM150T



SM150T

Mineral Soil: $\theta = -0.0714 + 1.7190V - 3.7213V^2 + 5.8402V^3 - 4.3521V^4 + 1.2752V^5$

Excel入力用: $-0.074 + 1.7190 * V - 3.7213 * V^2 + 5.8402 * V^3 - 4.3521 * V^4 + 1.2752 * V^5$

Organic Soil: $\theta = -0.0390 + 1.8753V - 4.0596V^2 + 6.3711V^3 - 4.7477V^4 + 1.3911V^5$

Excel入力用: $-0.0390 + 1.8753 * V - 4.0596 * V^2 + 6.3711 * V^3 - 4.7477 * V^4 + 1.3911 * V^5$



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844